

平成 22 年度実施 行政提案型協働事業企画提案書

① 地場産の花を理解する農業理解促進事業「花育」(農水産課)

提案団体 1 花育ボランティア花伝道師

② 防災講演会の開催(防災危機管理課)

提案団体 2 ひらつか防災まちづくりの会

③ 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業(人権・男女共同参画課)

提案団体 3 平塚てづくり紙芝居の会

④ シニア向け市民活動入門プログラムの実施(協働推進課)

提案団体 4 平塚 MAC

⑤ こころと命のサポート事業「自殺対策啓発事業」(くらし安全課)

提案団体 5 浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会

平 塚 市

企画提案 1

様式第 1 号

受付月日 2009年 9月29日

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

（あて先）

平塚市長

団体名 花育ボランティア花伝道師

所在地 平塚市

代表者 横田 八重子



行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

<p>① 事業名 (〇をつけてください)</p>	<p>1 地場産の花を理解する農業理解促進事業「花育」</p> <p>2 防災講演会の開催</p> <p>3 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業</p> <p>4 シニア向け市民活動入門プログラムの実施</p> <p>5 こころと命のサポート事業（自殺対策啓発事業）</p>
<p>② 企画提案内容</p>	<p>企画① 保育園、幼稚園における花育の実施（対象：児童、親） 平塚産の花を使い、花の名前を覚える、花に触れる、花を植える、花を飾る、花を押し花にして絵を描く等の活動を通じ、花育の目的を達成する</p> <p>企画② 生産者とのふれあい事業の実施（対象：子供～大人） 産地の利点を活かして、生産現場を見学するツアーを実施し、コーディネートする。参加者が生産者と花にふれあうことで、生産者の視点で平塚産の花について理解を深める。</p> <p>企画③ 平塚産の花き植栽体験（対象：子供～大人） 生産者を栽培管理の講師に、花の植栽体験講座を開催する。作品は市役所や駅前のプランター等で市民の目に触れるようにし、参加者、通行人の両方が平塚産の花に触れ、癒しの効果を広める。</p> <p>企画④ 花カフェの開催研究（対象：子供～大人） 次年度に向け、平塚産の花をテーマとしたカフェの開催について、市内の飲食店等と協力し、試験的に開催する。</p> <p>企画⑤ 平塚産の花の楽しみ体験（対象：子供～大人） 平塚産の花を使い、イベント会場で様々な体験教室を開催する。平塚産の花を使った押花短冊を作成し、七夕に市民飾りとして出展する。</p>

<p>③事業計画 [スケジュール 人員配置等]</p>	<p>別紙のとおり</p>
<p>④役割分担</p>	<p>(団体の役割)</p> <p>事業全般において</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企画調整 ②準備 ③人員配置 ④広報 ⑤実施 <hr/> <p>(市に期待する役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企画に対する助言、サポート ②広報（広報ひらつかへの掲載や、ポスター等の公共施設への掲示等） ③施設利用（公共施設の確保・減免等） ④市内花き生産者との調整 ⑤関係機関等との調整支援

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ハナイクボランティアハナデンドウシ 花育ボランティア花伝道師		
②所在地・ホームページ	〒 254 -	ホームページアドレス http://	
③連絡担当者及び連絡先	担当者 横田 八重子 (役職 会長)	電話 (連絡可能な時間帯)	FAX e-mail
④設立年月	平成21年 2月	(法人格取得年月)	年 月)
⑤会員の状況	個人= 45 人 (うち平塚市民 43 人) 団体= 団体		
⑥活動内容・活動実績	緑化まつりへの参加：エッグポマンダー体験実施 湘南ひらつかフラワーシティへの参加：押花体験実施 押花体験実施：太神保育園 (2日間プログラム) 花き生産者温室巡り：2回実施 花き生産者交流会：1回実施		
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間= 平成21年 2月 ~ 平成21年 8月 (または見込み)		
⑧前年度の決算状況	収入		支出
	会費収入 (内訳)	0 千円	(※内容を簡潔に記入) 千円
	事業収入 (内訳 緑化まつり等事業 (参加費))	26 千円	千円
	助成金・補助金 (内訳)	千円	千円
	その他 (内訳)	千円	千円
	合計	26,400 円	合計 0 円

*生産者より花材等の提供を受け、材料等は持ち寄ったため支出は無し

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	450 千円	
花の楽しみ方参加費	15 千円	押花体験等100円×150=15,000円
バスツアー参加費	180 千円	15名×1,500円×8回=180,000円
	千円	
収入合計 (A)	645 千円	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
ツアーバス代	320 千円	マイクロバス借り上げ40,000円×8回=320,000円
花・材料費	202 千円	花カフェ・植栽・イベント用花材、培養土、肥料等
消耗品費	67 千円	ボンド、和紙、コピー用紙、ラミネートフィルム等
謝礼	20 千円	植栽講師5,000円×3回=15,000円 花カフェ実験協力店舗謝礼5,000円
交通費	36 千円	保育園訪問、ツアー下見等移動ガソリン代
	千円	
	千円	
支出合計 (B)	645 千円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、公開いたします。提出された企画提案書等は返却いたしません。

事業計画

花育ボランティア花伝道師

項目	保育園、幼稚園における花育 毎月10人程度	生産者とのふれあい事業 20人	平塚産の花き植栽体験 17人+α	花カフェの開催研究 15人	平塚産の花の楽しみ体験 全員：参加可能な日に参加
4		初夏の温室ツアー企画	植栽企画	オープンカフェの研究@緑化まつり	緑化まつり：短冊、エッグポマンダー等
5	1回2日	広報、バスの手配	植栽企画、広報	企画	湘南ひらつかフラワーシテイ
6		初夏の温室ツアー(鉢物中心)マイクロバス4台	植栽企画、広報	会場調整	
7			植栽講座、プランター作り		七夕まつり：竹飾り
8			プランター管理(週1回、2人)	花カフェ広報	
9		秋の温室ツアー企画	秋冬の植栽企画、広報	花カフェ開催	
10	1回2日	広報、バスの手配	秋冬の植栽講座	開催結果検討	
11	1回2日	秋の温室ツアー(切花、シクラメン)マイクロバス4台	プランター管理(週1回、2人)	秋の温室ツアー(温室カフェ実験)	JJA湘南でてこいまつり
12	1回2日		プランター管理(週1回、2人)	温室カフェの振り返り	
1	1回2日		プランター管理(週1回、2人)	次年度花カフェの計画	
2	1回2日		春植栽企画、広報	次年度花カフェの計画	
3	1回2日		春植栽講座		春の花き展
費用： 645,000円	交通費：500円×4台/1回×14回 =28,000円 花代42,000円	バス料金：40,000円×8回 =320,000円 交通費：500×4台/1回×4回 =8,000円	講師謝礼：5,000円×3=15,000円 花100円×200ポット×3回=60,000円 消耗品：10,000円 培養土：25L@1,000円×10袋=10,000円	消耗品：10,000円 花代：50,000円 謝礼：5,000円	消耗品：ラミネートフィルム@200円×50冊=10,000円 ポンド@400円×10本=4000円 サインペンセット@1,000円×3セット=3,000円 花@100円×300=30,000円 乾燥紙30,000円 その他消耗品費10,000円
	70,000	328,000	95,000	65,000	87,000

645,000

70,000

328,000


95,000

65,000

87,000

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

(あて先)
平塚市長

団体名 ひらつか防災まちづくりの会
所在地 平塚市
代表者 篠原 憲一 

行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

<p>① 事業名 (〇をつけてください)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 2 花と緑のふれあい拠点（仮称）花のある景観づくり事業 3 市民活動普及啓発事業 ④ 防災講演会の開催 5 ところと命のサポート事業（自殺対策啓発事業）
<p>② 企画提案内容</p>	<p>「支え合う地域づくり」をテーマとした地域参加型防災フォーラム ■「わが地域の防災の取り組み」～共に支え合う地域を目指して～ << 形式；基調講演＋パネルディスカッション >> ◇ 基調講演 講師「支え合う地域づくり」の具体的な事例をお話いただく。 ◇ パネルディスカッション 市内数地域の方(自治会；または地域団体)にパネリストとして、ご自分の地域での防災の取り組みをご紹介いただく。 ◇ 狙い 21年度のアンケート・フォーラム結果を元にさらに地域にアプローチし、地域との友好な関係を培い、行政・地域・市民活動団体をつないでいきたい。 ※ 21年度事業の経過途上で「他地域ではどんな取り組みを行っているのか知りたい」、「自分の地域の取り組みを知ってほしい」、という意見も頂いている。 ◇ 効果 ・地域には親近感もあるので、聴衆の参加が見込める。 ・講師・パネリストのお話が「工夫すれば自分の地域でもできるのでは」というヒントになることを狙いとしたい。 ・多少なりとも、地域の方々の「おらが地域；支え合うまちづくり」（防災・福祉）という意識や、地域自治会への関心を高めて頂ければと考える。 ■講演会までの期間の有効活用 ⇒「支え合う地域づくり」へ 方 法 案 ①基調講演講師 過去の災害を教訓とした復興事例をお話し頂きたい。 ②21年度結果の有効活用。(176回収/236自治会) アンケート・地域アプローチの結果を元にさらに地域・団体へのアプローチを行う。 ③パネリスト選出 ①の結果から選出できればと考えている。 ④地域防災懇談会 可能な範囲で行いたい。 ⑤防災お手伝い 自治会・地域団体へ…防災実験・被災体験・講話・紙芝居・クイズ・救急法講法</p>

<p>③事業計画 〔スケジュール 人員配置等〕</p>	<p>H21年度11月～3月 行政との協議（3～5名）</p> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基調講演講師の選出と依頼 1月は阪神淡路の時期であり、防災に関わる専門家は忙しく、1年以上前から予定が入っている場合もある。⇒早期の依頼を考えたい。 <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自治会連絡協議会・社会福祉協議会等の会合に参加させて頂き、主旨説明、協力依頼をお願いしたい。（2～3名） ○21年度に引き続き、協働事業で地域参加型フォーラムを行う旨 ○地域からパネリストを選出させて頂きたい旨 ○地域インタビュー・防災懇談会・ワークショップ等に了承頂きたい旨（連合会単位・単自治会単位） ○上記の主旨の自治会向け依頼文書発送（協働推進課の協力が必要） <p>H22年度</p> <p>4月～11月（3～6名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域リサーチ ◆地域インタビュー ◆地域防災懇談会「支え合う地域づくり」 地域／行政／市民活動団体の互いの現状認識。 ⇒ 何ができるか、何が必要かを洗い出す ⇒ 各地域の取り組み ⇒（フォーラム発表へ） ◆地域への防災お手伝い（可能な範囲とする） <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆フォーラム準備 <p>H23年1月</p> <p>防災フォーラム「わが地域：防災の取り組みⅡ」 ～共に支え合う地域を目指して～</p>
	<p>④役割分担</p>
<p>（市に期待する役割）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大きくは行政の信用と経験をお借りすること。 ◆具体的には広報、情報／場の提供、職員派遣、講演会に向けての準備にかかる経費面の支援。 <ol style="list-style-type: none"> 1、情報提供（自治会の様子、社協の様子、行政の状況） 2、地域情報の提供・広報・依頼文の協働 3、地域懇談会への出席 4、講演会までの準備にかかる経費面の支援 	

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ヒラツカボウサイマチヅクリノカイ ひらつか防災まちづくりの会	
②所在地・ホームページ	〒254 ー 平塚市 ホームページアドレス http://www.geocities.jp/hiratsukabousaimachidukuri/	
③連絡担当者及び連絡先	担当者 篠原 憲一 (役職 代表) 電 話 (連絡可能な時間帯) FAX e-mail 住 所 平塚市	
④設立年月	2003年 8月 (法人格取得年月 年 月)	
⑤会員の状況	個人= 32 人 (うち平塚市民 21 人) 団体= 0 団体	
⑥活動内容・活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災まち歩き(こども防災まち探検4地区、自治会とのまち歩き・マップ作成3自治会4回) ○ 子供向けの地震火山スクールの開催 2005年より夏休みに開催(平塚、相模湾、大磯丘陵の成り立ちや大地の恵みの理解を通じて地震や火山の怖さと恵みを理解してもらう講座を開催) ○ 防災かるた作成ならびにかるた大会の開催(全市二回、地域三回)、防災カルタ作成キット作成(内閣府防災教育チャレンジプラン助成、松下電器産業NPO活動支援プログラム助成) ○ 耐震補強モデル事業の実施(代表友人宅を耐震補強、延べ100回以上の見学会実施) ○ 防災講演会の開催80回。防災講演会講師派遣30回。 ○ 外国籍市民向け防災マニュアル作成(6ヶ国語) ○ 崇善小学校父の会・夏の防災キャンプへの協力【毎年】 ○ 防災視察受け入れ；複数回。 ○ 阪神淡路語り部を招いての5日間11か所の連続講演会開催。 ○ 養護学校生徒との防災かるた音楽コラボレーション ○ 地域放送番組作成(三回) ○ 花水青少年指導員 夏/冬の防災共同事業(2006年度~夏・冬) 防災実験、救急法、オリジナル防災寸劇を中学演劇部が演じる等。 ○ 21年度平塚市行政提案型共同事業採択実施(実施途上) ○ 21年度神奈川県教委事業採択(実施途上) 	
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間= 20年4月 ~ 21年3月(または見込み)	
⑧前年度の決算状況	収 入	支 出
	会費収入 64 千円 (内訳 2000円 × 32人) 賛助金 60 千円 事業収入 18 千円 (内訳 講師謝礼他) 助成金・補助金 990 千円 (内訳 神奈川県委託事業) その他 87 千円 (内訳 繰越 その他)	(※内容を簡潔に記入) ・地震火山子どもスクール 65 千円 ・講演会講師費用ワークショップ 10 千円 ・かるた補修 2 千円 ・相模湾アカデミー 3 千円 ・神奈川県教育委員会災害ボランティア事業 990 千円 ・事務費・諸雑費 73 千円 ・繰越金 76 千円
	合 計 1,219 千円	合 計 1,219 千円

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	126 千円	防災フォーラムとその準備にかかる費用
	千円	
	千円	
	千円	
収入合計 (A)	126 千円	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
講師謝礼	70 千円	講師謝礼5万円、交通費2万
パネラー謝礼	20 千円	5千円×4名
事務諸経費	15 千円	・自治会への依頼状・資料にかかる経費 (印刷費・用紙代) ・インク代・通信費・フォーラムにかかる諸雑費 ・報告まとめ経費 等
雑費用	31 千円	・自治会訪問交通費必要経費・依頼ボランティアへの謝礼 等
	千円	
支出合計 (B)	126 千円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、公開いたします。提出された企画提案書等は返却いたしません。

企画提案 3

受付月日	2009年 9月24日
------	-------------

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

(あて先)
平塚市長

団体名 平塚てづくり紙芝居の会

所在地 平塚市

代表者 鈴木 恵子 

行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

<p>① 事業名 (〇をつけてください)</p>	<p>1 地場産の花を理解する農業理解促進事業「花育」 2 防災講演会の開催 ③ 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 4 シニア向け市民活動入門プログラムの実施 5 こころと命のサポート事業（自殺対策啓発事業）</p>
<p>② 企画提案内容</p>	<p>① 市から提出されたテーマに基づき、男女参画の主旨が見る人にはっきりとわかる紙芝居を製作します。 ② 紙芝居を楽しみながら男女参画を理解していただけるような作品を作ります。 ② こどもたちや見る人たちと紙芝居を見る喜びを共有できるよう同じ目線にたって製作し・上演します。 ③ 平塚のまちが感じられる作品にします。 ⑤ 貸し出しを考慮し誰もが上演しやすい作品を作ります。</p>

<p>③事業計画 〔スケジュール 人員配置等〕</p>	<p>台本提示 ↓ 脚本練り 2ヶ月 2名 ↓ 脚本固め 1ヶ月 8名 ↓ 下絵作成 1ヶ月 2名 ↓ 本絵色塗り 1ヶ月 8名 ↓ 仕上げ 2週間 2名 ↓ 原画提出 (9月上旬を予定) ↓ 上演</p>
<p>④役割分担</p>	<p>(団体の役割) 男女参画をテーマにした紙芝居の製作と効果的な上演</p>

	(市に期待する役割) 台本(テーマ)の提示 上演計画作成 複写・貸し出し
--	---

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ヒラツカ テヅクリ カミシバイ ノ カイ 平塚てづくり紙芝居の会
②所在地・ホームページ	〒 254- 平塚市 ホームページアドレス http://
③連絡担当者及び連絡先	担当者 鈴木 恵子 (役職 代表) 電話 (連絡可能な時間帯 ルス電可) FAX e-mail 住所 平塚市
④設立年月	平成 20 年 6 月 (法人格取得年月 年 月)
⑤会員の状況	個人= 9 人 (うち平塚市民 9 人) 団体= 団体
⑥活動内容・活動実績	<p>会としては新しいが、個人では20年前よりてづくり紙芝居を製作、市内のイベント、施設や学校などで上演してきた。 代表作「おばけえのきとねこのおとり」「D52403ごうのかつやく」「赤いベレーの長岡さん」(パソコン影絵)</p> <p>会としては平成20年度行政提案型協働事業にて男女参画紙芝居を製作「みんなのしょうなんアニメーレ」「ヒラヒラおばけとツカツカおばけ」金田保育園・県立高校のNPOフェア(大原)・東海大学ビーチハウス、図書館などで上演。</p>

⑦前年度の 決算期間		前年度決算期間=平成 20 年 6 月 ~ 21 年 3 月(または見込み)		
⑧前年度の 決算状況	収 入		支 出	
		会費収入 (内訳500×8)	4000円	千円
	事業収入 (内訳)	0)	千円	・資料費 900円
	助成金・補助金 (内訳)	0)	千円	・通信費 700円
	その他 (内訳)	0)	千円	
	合 計	4000円		合 計 4000円

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	110千円	
	千円	
	千円	
	千円	
収入合計 (A)	110千円	

②支出 (見込み)

区 分	金額 (千円)	内 容
消耗品費	27千円	紙芝居の用紙・仕掛け・絵の具・筆など
資料・通信費	9千円	製作段階での印刷・コピー用紙・インク代・切手代
上演機材費	25千円	紙芝居舞台・拡声器 (50人の園もあるため)・黒幕・太鼓・メガホンなどの小道具
紙芝居保存用備品	15千円	紙芝居保存用の保存袋
交通費	34千円	上演10園までの交通費・対象年齢の子どもを知るための調査交通費・紙芝居舞台となる場所現地見学のための交通費・会議および製作 (月平均3回×9) 交通費
	千円	
	千円	
支出合計 (B)	110千円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、公開いたします。提出された企画提案書等は返却いたしません。

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

平塚市長 大蔵 律子 様

団体名 平塚MAC

所在地 _____

代表者 河越 重臣



行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

<p>① 事業名 (〇をつけてください)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地場産の花を理解する農業理解促進事業「花育」 2 防災講演会の開催 3 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 ④ シニア向け市民活動入門プログラムの実施 5 こころと命のサポート事業（自殺対策啓発事業）
<p>② 企画提案内容</p>	<p>『(仮称) シニア男性の地域デビュー入門講座』全8講座を開催。 この講座は、平成8年から連続9年間、市が主催された『男の講座』のリメイク版です。</p> <p>受講対象者は？ 『定年を迎えても家で無為に過ごしたくは無いなあ、平塚でも市民活動団体が沢山あるようだが、一体どんなことをしているのかなあ、地元で自分が何か役立つことができるだろうか、また地元で新しい仲間に入ってゆけるかな、そうだ、まずは男だけの集まりで肩肘張らずに学んでみよう』と思っているシニア男性を対象としました。</p> <p>私たち平塚MACは、設立10周年を迎える市民活動団体ですが、実は会員の大半が上記の『男の講座』の受講生で、その時の体験とMACの諸行事を通して得たノウハウを基に、以下の計画骨子を作成、提案させていただきます。</p> <p>なお、この企画の実施に際しては、もちろん、多くの市民活動団体の有志に参画・協力を仰ぐ所存です。</p>

<p>③事業計画 「スケジュール 人員配置等」</p>	<p>『(仮称) シニア男性の地域デビュー入門講座』 8 講座を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間：9：30～12：00（内容により変更あり） ・会場：市民活動センターなど ・期間：平成22年6月～11月（5ヶ月間・ほぼ3週間毎） <p>第1講「開講式・肩書きを脱いだ人間関係」 第2講「平塚の歴史・史跡を訪ねて」 第3講「歳を重ねるとのこと・介護を学ぶ」 第4講「男の料理（実習）・栄養と健康」 第5講「市民生活をめぐる様々な問題」 第6講「座談会・体験者は語る、市民活動は面白いぞ」 第7講「地域の仲間づくり」 第8講「閉講式・これがスタート」</p>
<p>④役割分担</p>	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座内容の企画全般 ・開催日当日の会場設営と進行業務（受付・司会・事務報告） <p>(市に期待する役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の宣伝、参加者募集・応募手続き、会場の確保 ・講師の選定と交渉に対する積極的協力

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ヒラツカ マック		
	平塚MAC (Men's Active-life Club)		
②所在地・ ホームページ	〒		
	ホームページアドレス http://www.geocities.jp/hiratuka_mac/		
③連絡担当者 及び連絡先	担当者 谷 厚太郎 (役職 幹事)		
	電話 (連絡可能な時間帯 18時～20時)		
	FAX e-mail		
	住所 神奈川県平塚市		
④設立年月	1999	年 2 月	(法人格取得年月 年 月)
⑤会員の状況	個人= 58 人 (うち平塚市民 54 人) 団体= 市民活動 団体		
⑥活動内容・ 活動実績	七夕まつりボランティアをはじめ、学習会、料理を楽しむ会、歩く会、サロン会、ゴルフを楽しむ会、囲碁を楽しむ会などを定期的で開催して、会員相互の研鑽・親睦を図っています。機関誌「飛翔」を月一回発行。学習会は最近、対象を会員以外にも拡げ、平塚MAC主催として下記の講演会を開催しました。		
	①「後期高齢者医療保険制度」についての講演会 (市役所情報宅配便、2008年2月)		
	②「裁判員制度」についての映画と講演会 (講師：横浜地方検察庁広報官、2009年5月)		
	③「心の唄～共に生きる。なぜ市民活動にかかわるようになるようになったか？」 (講師：NPO 法人暮らしと耐震協議会理事長 木谷正道氏、2009年9月)		
	④「平成21年度市民向け講座等共催事業」に応募、採択され、現在、開催準備中 テーマ「認知症について正しい知識を持ちましょう」(講師：長尾洋江氏、2010年2月)		
	⑤「公開医療講座」を09年11月より茅ヶ崎徳洲会総合病院との定期共催をスタート		
⑦前年度の 決算期間	前年度決算期間= 2008年4月～2009年3月		
⑧前年度の 決算状況	収入		支出
	会費収入 (内訳 58名@2千円)	116 千円	(※内容を簡潔に記入) ・諸行事補助 26千円
	事業収入 (内訳)	千円	・機関誌 ^紙 作成費 13千円
	助成金・補助金 (内訳 寄付金)	11 千円	・会議費・連絡費など 21千円
	その他 (内訳 前年度より繰越金)	33 千円	・慶弔見舞金積立 57千円
			・次年度への繰越金 43千円
合計	160 千円	合計 160 千円	

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	100 千円	
収入合計 (A)	100 千円	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
講師への謝礼	80 千円	全8講座を通して平均1回あたり1万円として
宣伝費	10 千円	参加者募集にかかる広告宣伝費用
雑費	10 千円	連絡費、プリント代など
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
支出合計 (B)	100 千円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。


注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、公開いたします。提出された企画提案書等は返却いたしません。

行政提案型協働事業（モデル事業）企画提案書

(あて先)
平塚市長

団体名 浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会

所在地 平塚市

代表者 諸山朝子 

行政提案型協働事業（モデル事業）について、以下のとおり企画提案します。

1 提案内容

<p>① 事業名 (Oをつけてください)</p>	<p>1 地場産の花を理解する農業理解促進事業「花育」 2 防災講演会の開催 3 男女共同参画推進紙芝居製作及び啓発事業 4 シニア向け市民活動入門プログラムの実施 ⑤ こころと命のサポート事業（自殺対策啓発事業）</p>
<p>② 企画提案内容</p>	<p>① 読み聞かせによる幼少期からの啓発 平成21年度事業で読み聞かせボランティアへのアンケート結果をもとに作成する「いのちの尊さを伝える本138」ブックリスト（10月上旬完成学区内配布予定）を活用した啓発活動 ・ボランティアによる地域各所での年間を通した読み聞かせ 花水・なでしこ公民館 平塚工科高校 花水・なでしこ小学校 花水台保育園 花水福祉村など</p> <p>② 地域で恒例となった落語会での子どもからお年寄りまで全世代への啓発 落語家 桂才紫「猿の手」：いのちの尊さを考えさせられる噺 その他 *本年度実施結果により講演への変更も想定するが対象、開催日時、会場の変更はしない</p> <p>③ 協議会機関紙（中学校区自治会回覧）による情報提供</p>

<p>③事業計画 「スケジュール 人員配置等」</p>	<p>① 4-3月 読み聞かせボランティア5団体による 中学校区内各活動場所・時間帯での読み聞かせ</p> <p>② 11月1日 落語会（公民館共催事業） 花水公民館2階ホール 当日スタッフ10名程度</p> <p>③ 7, 3月 機関紙発行 自治会回覧</p>
<p>④役割分担</p>	<p>(団体の役割)</p> <p>① ブックリストを活用し年齢に応じた本の選定と読み聞かせ</p> <p>② 会場確保、落語家との交渉、広報、参加者集約、 当日の会場設営、運営</p> <p>③原稿作成、印刷、各自治会への配布の手配</p> <p>(市に期待する役割)</p> <p>① ブックリストの学区外（40校、図書館4館など）配布のための 増刷作業と費用補助、遞送便を利用したの配布</p> <p>② 開演前の条例紹介、報償費補助</p> <p>③ 暮らし安全課主催イベントなどの情報提供</p>

2 企画提案団体の概要

①団体名	(フリガナ) ハマタケチュウガッコウクodomodokushyokatsudoushishinkyougikai			
	浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会			
②所在地・ホームページ	〒254-0814 平塚市龍城ヶ丘4-26 浜岳中学校内 ホームページアドレス http://			
③連絡担当者及び連絡先	担当者	諸山 朝子 (役職 会長)		
	電話	(連絡可能な時間帯 8-9:16:00以降)		
	FAX	e-mail		
	住所	平塚市		
④設立年月	平成18年 4月	(法人格取得年月 年 月)		
⑤会員の状況	個人= 21 人 (うち平塚市民 人) 団体= 8 団体 添付資料: 構成員名簿参照			
⑥活動内容・活動実績	平成18年度平塚市よりモデル地区として指定され協議会発足。 「子どもがすすんで本を手にとるまちづくり」を目標とし、浜岳中学校区の子どもの読書活動の推進について、子どもに関わる大人たちの学校他各機関の枠を越えた地域のネットワークづくりをすすめている。 平成20年度事業 「市長と学びトーク」「読み語り講座1,2」「本の補強&修繕講座」「絵本 BANK」: 平塚信用金庫花水支店フロアで回収した絵本を修繕補強して保育園幼稚園学童に配布、「花水ブックフェスティバル」: 公民館共催、「中学生だっこボランティア」: 保育園の読み聞かせ時に中学生が園児をだっこして一緒に楽しむ、「落語ブックフェア」: 各学校図書館で、「落語会」: 公民館共催、「司書のお仕事シンポジウム2」「お母さんも図書館員体験」: 南図書館、…全10事業+湘南ひらつか七夕まつり市民飾り参加			
⑦前年度の決算期間	前年度決算期間= 平成20年 4月 ~ 21年 3月 (または見込み)			
⑧前年度の決算状況	収 入		支 出	
	会費収入 0	千円	(※内容を簡潔に記入)	
	(内訳)		・報償費	59,402 円
	事業収入 0	千円	・通信費	140 円
	(内訳)		・印刷製本費	714 円
助成金・補助金…市より委託金 70	千円	・消耗品費	9,778 円	
(内訳)				
その他 利息 0.034	千円			
(内訳)				
合 計	70,034 円	合 計	70,034 円	

3 収支予算書

①収入

区 分	金額 (千円)	内 容
市からの委託料 (必要とする金額)	40千円	①③用紙代 ②報償費補助
	千円	
	千円	
	千円	
収入合計 (A)	40千円	

②支出

区 分	金額 (千円)	内 容
報償費	20千円	報償費補助
消耗品費	20千円	用紙 (ブックリスト増刷 A4、自治会回覧 A3)
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
支出合計 (B)	40千円	

注) 収入合計(A)と支出合計(B)は同額としてください。

注) 提出された企画提案書及び添付された資料は、事業選考のため協働事業審査会で使用するほか、個人情報以外については、公開いたします。提出された企画提案書等は返却いたしません。